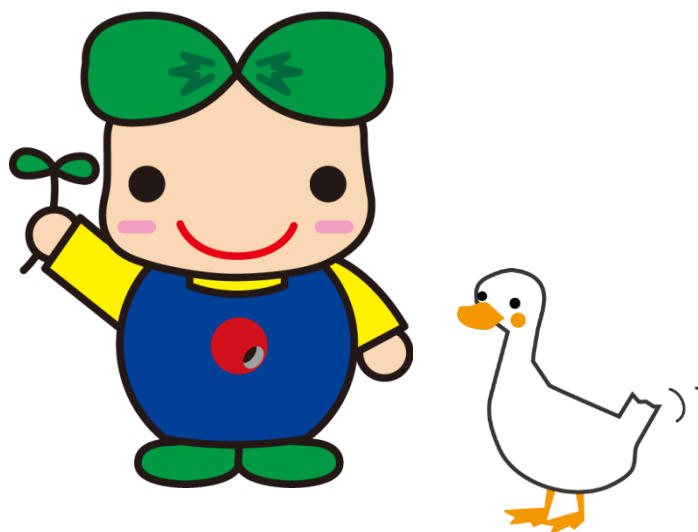


災害対策マニュアル



認定こども園 もりや幼保園

平成27年度作成

も く じ

1. 組織編成	p 1
2. 関係機関との連絡体制	p 3
3. 避難訓練 年間計画	p 4
4. 園内避難経路	p 5
5. 避難所避難場所マップ	p 6
6. 備蓄物資と非常持出品	p 7
7. 対応マニュアル	
*地震時マニュアル	
(保育室での対応)	p 9
(園庭での対応)	p 10
(午睡中での対応)	p 11
(園外保育中での対応)	p 12
(水遊び中での対応)	p 13
(園バス乗車時での対応)	p 14
バスコース避難所マップ～守谷市内～	p 15
～つくばみらい市①～	p 16
～つくばみらい市②～	p 17
(登降園時での対応)	p 18
(休日夜間時での対応)	p 19
*火災時マニュアル	
(園児への対応)	p 20
(火災発生時の対応)	p 21
8. 保護者への引き渡し	p 22
9. 緊急時の通信手段	p 23
10. 災害時における心のケア	p 24
11. 園児の心のケア	p 25
12. その他 参考資料	p 26
心肺蘇生法 (乳児：1歳児未満)	
(小児：1歳児以上)	
救急車の呼び方	
災害用伝言ダイヤル171	

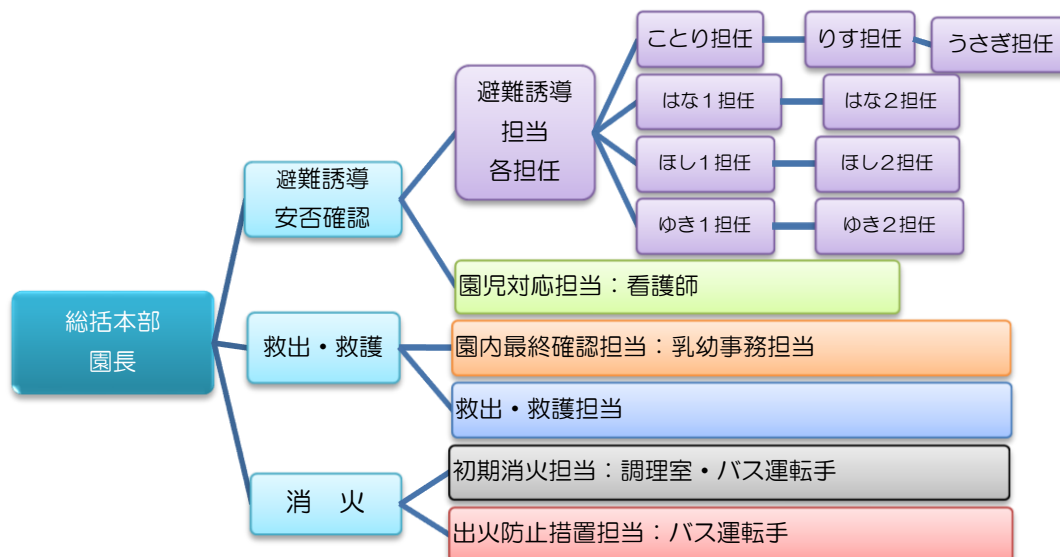
1、組織編成

消防隊編成表

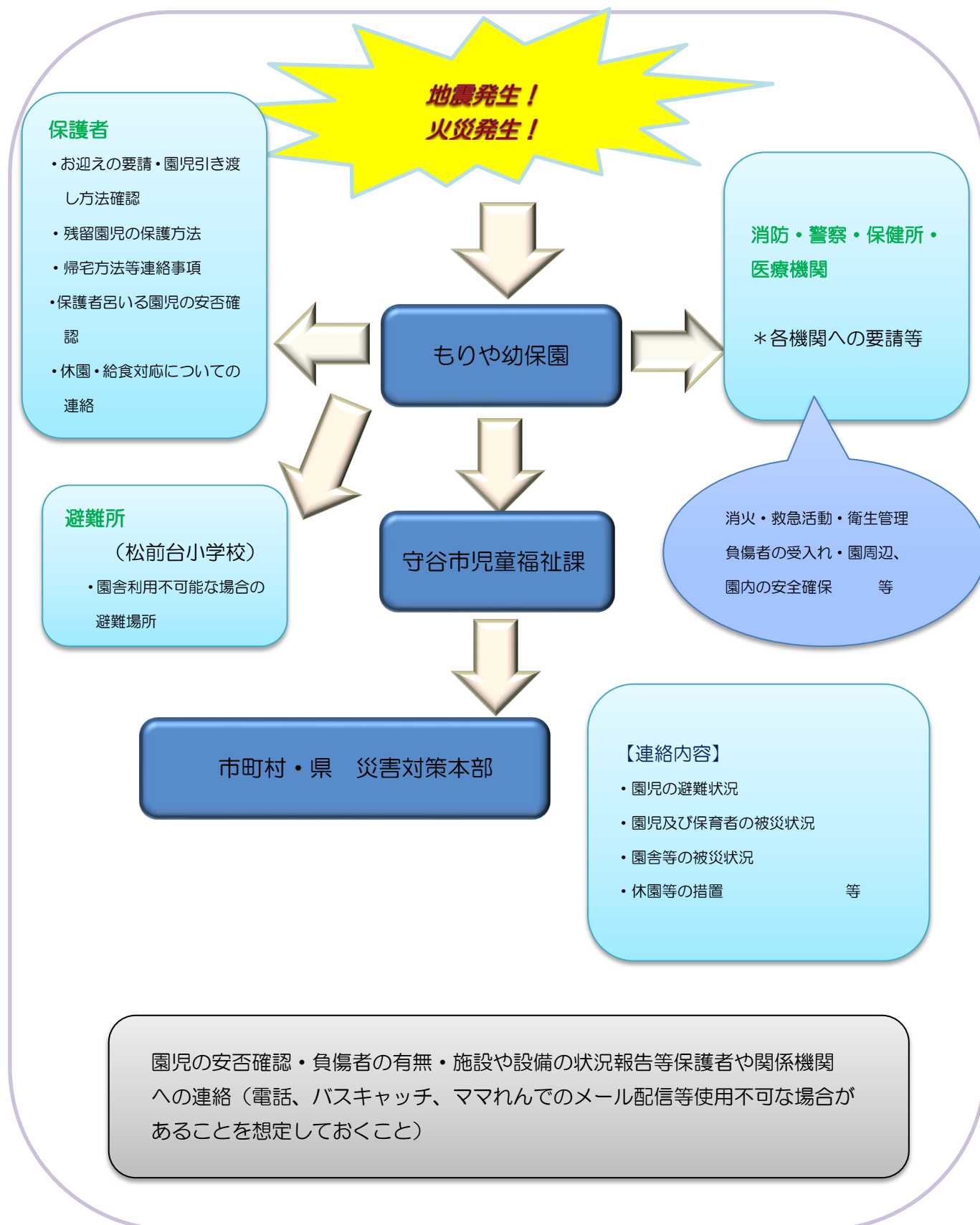
認定こども園 もりや幼保園 （H27年度）

係	乳児クラス	幼児クラス	主な対応
総括本部	伊藤久美子	伊藤久美子	- 被害状況を把握し、避難の実施方法を決定 - 避難経路の安全性を確認後、避難の指示 - 二次災害等の情報収集 - 県市町村等の関係機関への連絡
避難誘導・ 安否確認	各担任	各担任	- 園児の安全を確保 - 園児への的確な指示 (おかしもの合言葉) お・・・おさない か・・・かけない し・・・しゃべらない も・・・もどらない - 担任クラスの人員を確認し、負傷の有無・程度等を本部に報告 - 非常持出品（出席簿・伝達表・クラス所有救急箱） - 避難場所への誘導
通報連絡 救出・救護	神矢 香織	渡邊 享子	- 保育室・トイレ・園庭等の残留園児確保 - 負傷者の救出・応急手当 - 医療機関への連絡 - 非常持出（引き渡しカード・緊急連絡先ファイル・救急箱）
消火係	皆川 忠士 調理室職員	皆川 忠士 調理室職員	- 出火防止措置 ガスの元栓を閉める 電気のブレーカーを切る 等 - 初期消火活動

地震・火災発生時の役割分担



2、関係機関との連絡体制



3、避難訓練 年間計画

平成27年度 避難訓練計画及び防災教育

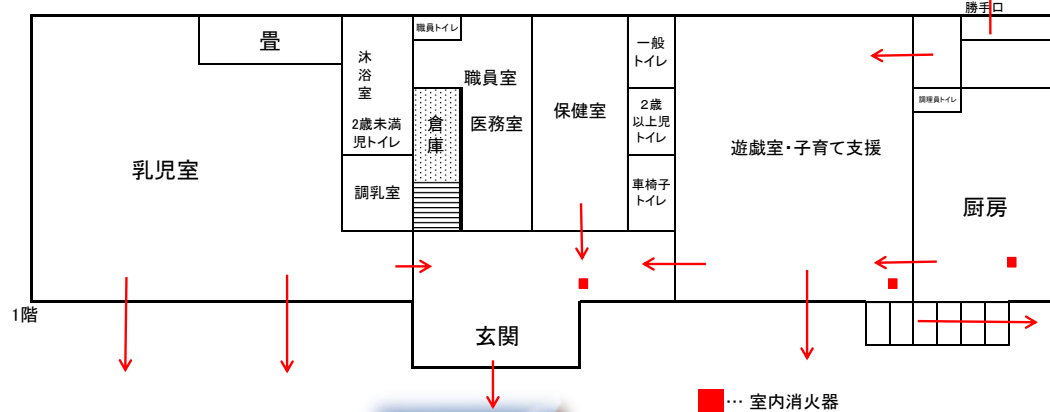
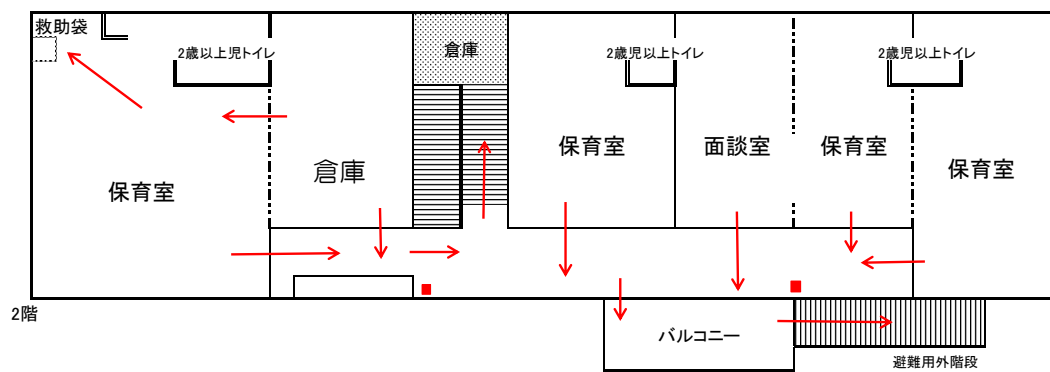
認定こども園 もりや幼保園 平成26年12月起案

月日	想定内容		予定時間	事前教育	指導目的	訓練方法	その他訓練
	訓練	出火場所					
4月30日 (木)	地震⇒火災 (1次避難)	調理室	AM10:00	1、火災の恐ろしさ 2、紙芝居(火事) 3、避難の仕方	1、避難訓練に慣れる 2、放送を静かに聞く 3、「おかしも」の合言葉	1、放送をそのままの場所で聞く 2、笛の合図で保育士の周りに集める 乳児は声掛けを行う	
5月28日 (木)	総合 引き渡し訓練		保育園(降園時) 幼稚園(バス無 降園時)	1、防災の日について	1、防災の日の意味を知り、話し合う。	1、引き渡しの際の手順を知る。	防災訓練 引き渡し訓練
6月25日 (木)	総合・火災 (2次避難)	調理室	AM10:30	1、紙芝居 2、避難の仕方 園舎内の階段から避難	1、避難の方法を知る 2、「おかしも」の合言葉	1、ベルの合図、放送を聞く 2、定められた経路により上履きのまま園庭にでる	消火器の場所の確認 消防署の指導・消防車来園 初期消火訓練
雨天: 6/29 7月23日 (木)	* 消防署申込必要 地震⇒火災 (2次避難) 通報訓練	ことり	AM9:30	1、地震について 2、紙芝居(地震)	1、地震が起きたときの身を守る方法を覚える	1、保育士の指示でテーブルの下に入る 2、放送の指示で園庭に避難する (火災出火場所によつての避難場所確認)	
8月28日 (金)	地震 (1次避難)		PM17:30	1、担任以外の指導を聞くことの確認 2、家庭で地震が起きたら	1、時間外で火災のとき避難の方法を知る	1、放送をそのままの場所で聞く 2、笛の合図で保育士の周りに集める	
9月28日 (月)	火災 (1次避難) 通報訓練	近隣住宅	AM10:30	1、紙芝居(火事) 2、避難の仕方 (おかしもの説明)	1、避難の合言葉「おかしも」を守る	1、事前に火災の心得について話し合い 訓練を行う 2、ハンカチの使用についての確認	通報訓練
10月29日 (木)	火災 (3次避難) (大山公園)	幼稚園	AM10:00	1、広い場所での避難の仕方	1、火災のときの避難の知る	1、放送をそのままの場所で聞く 2、笛の合図で保育士の周りに集める 3、放送の指示で園庭に避難。その後公園への避難	
11月30日 (月)	不審者対策 (1次避難) * 不審者職員間で実施		AM10:30	1、不審者への対応 2、普段の生活の中で考えられることで伝えていく。	1、訓練の必要性について知らせる	1、不審者の対応の仕方を知る。 2、職員間の役割を決めておく。	
12月21日 (月)	地震⇒火災 (1. 2次避難)	近隣住宅	給食中 AM11:30	1、紙芝居(火事) 2、避難階段の使用	1、放送や先生の話をよく聞く 2、「おかしも」の厳守	1、放送を聞く 2、定められた経路により上履きで園庭にでる	
1月28日 (木)	地震 (1次避難)	地震	PM15:00 午睡明け	1、活動中の避難の仕方	1、着替え中等の時の避難 2、各保育室での安全確保	1、保育士の指示でテーブルの下に入る。 又は、部屋の中央に集まる。	
2月25日 (木)	通報訓練 総合・通報訓練 (1次避難)	火災 近隣住宅より出火 * 消防署申込必要	AM10:30	1、1次避難の仕方	1、火災時の避難の仕方 2、ハンカチの使用	1、クラスでの待機。 2、指示があるまでの待ち方	
3月17日 (木)	不審者対策 (1次避難) * 不審者本部に依頼	不審者対策 不審者対策 (1次避難)	AM10:30	1、不審者対策の再確認	1、部屋への侵入後の対応	1、どのように、どこに逃げ込むのか等の シュミレーションを行う。	通報訓練

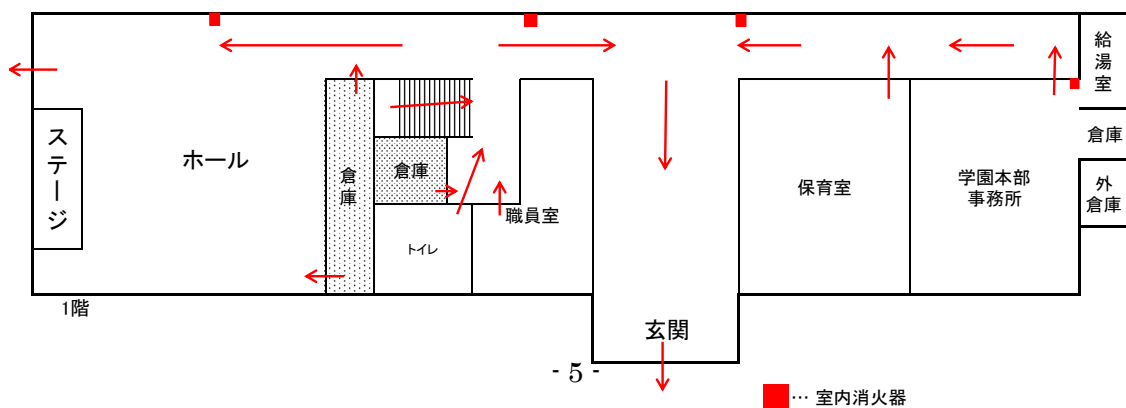
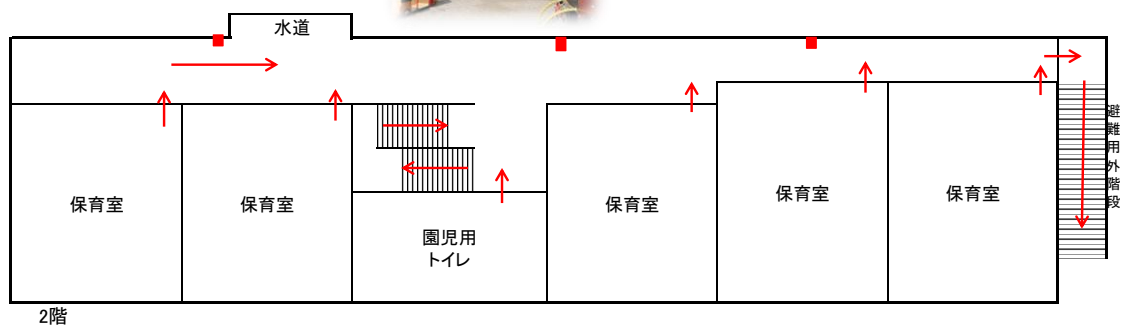
* 避難の種類: 1次避難(園庭) 2次避難(保育室) * 2. 3次避難時雨天延期

4. 園内避難経路

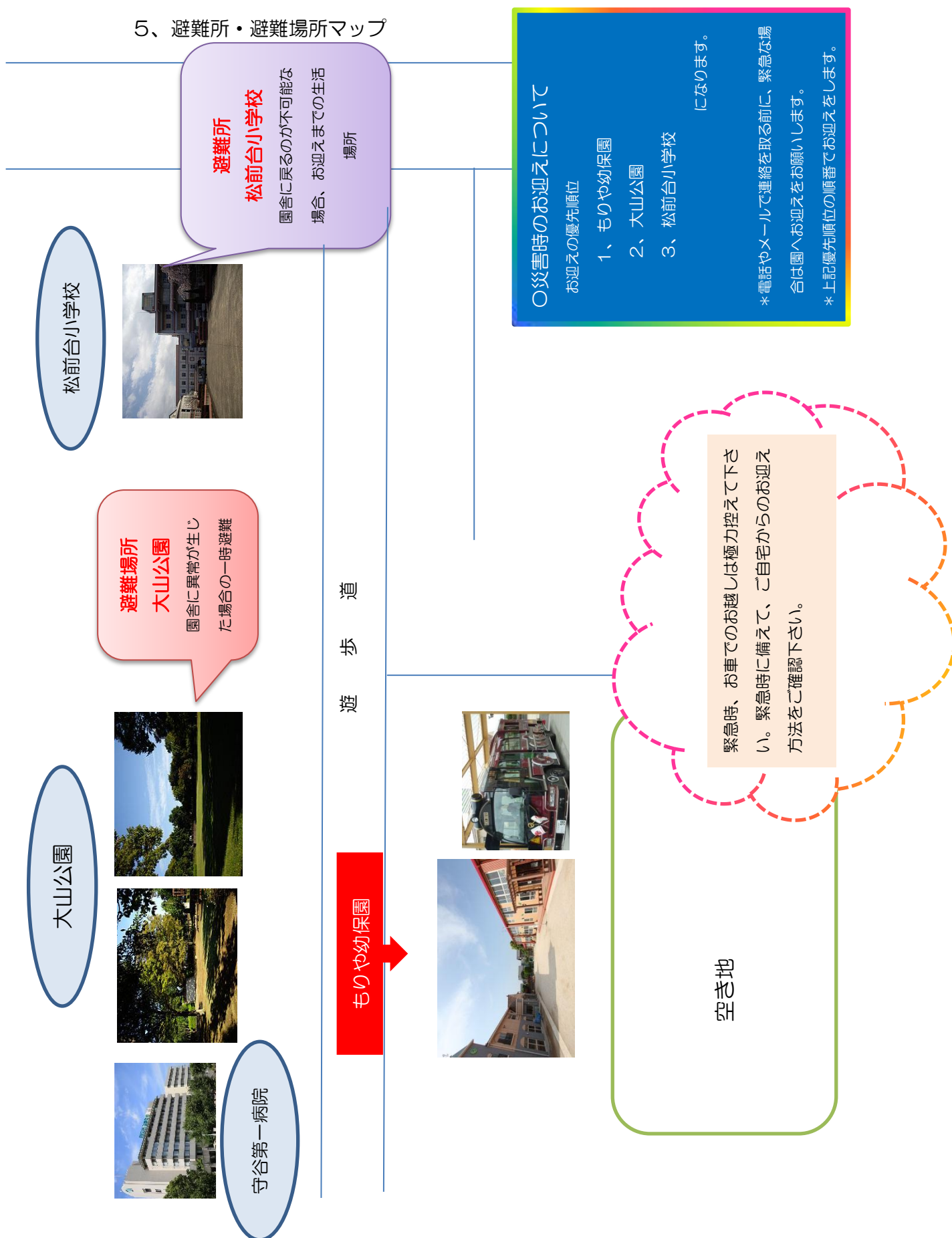
乳児クラス



幼児クラス



5、避難所・避難場所マップ

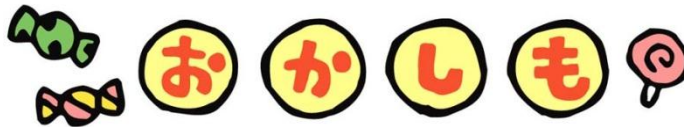


6、備蓄物資と非常持出品



①備蓄物資一覧表

区分	品名
食料品	ミネラルウォーター 粉ミルク、スポーツ飲料 米・アルファ米、缶詰、乾パン あめ、ビスケット 保存期間が長く火を通さなくても食べられるもの アレルギー対応の簡易食料 等
生活用品	水、毛布、ビニールシート 非常用保温アルミシート、着替え、ビニール袋 水筒、哺乳瓶、卓上コンロ（ボンベ） スプーン、フォーク、缶切り、ナイフ、ラップ おまる、紙おむつ、トイレットペーパー、生理用品、用紙、ガムテープ、雨具、現金（小銭も）、マッチ、ライター 等
避難用品	防災頭巾（ヘルメット）、おんぶひも、 拡声器（メガホン） 軍手、ロープ、ビニール袋 懐中電灯、ラジオ、乾電池 関係機関連絡リスト 等
救急医療品	包帯、ガーゼ、止血帯、絆創膏、三角巾 湿布、タオル、消毒薬、体温計、カット綿 ゴム手袋 等



②非常持ち出し品



乳児担任	幼児担任	担任以外・事務職員
出席簿 伝達表・出席簿 防災マップ 哺乳瓶 ミネラルウォーター 着替え・紙オムツ おしりふき ティッシュ・ウェットティッシュ ビニール袋 タオル おんぶ紐 筆記用具 笛 懐中電灯 クラス用救急箱 防災頭巾 等	出席簿 伝達表・出席簿 防災マップ 着替え おしりふき ティッシュ・ウェットティッシュ ビニール袋 タオル 筆記用具 笛 懐中電灯 クラス用救急箱 防災頭巾 ロープ 時計 等	緊急カード 引き渡しカード 防災マップ 筆記用具 ティッシュ・ウェットティッシュ ビニール袋 タオル 現金 救急箱 懐中電灯 携帯電話・充電器 笛 ラジオ バ王再関係機関連絡先一覧 等

非常持ち出し品(一次持ち出し品)



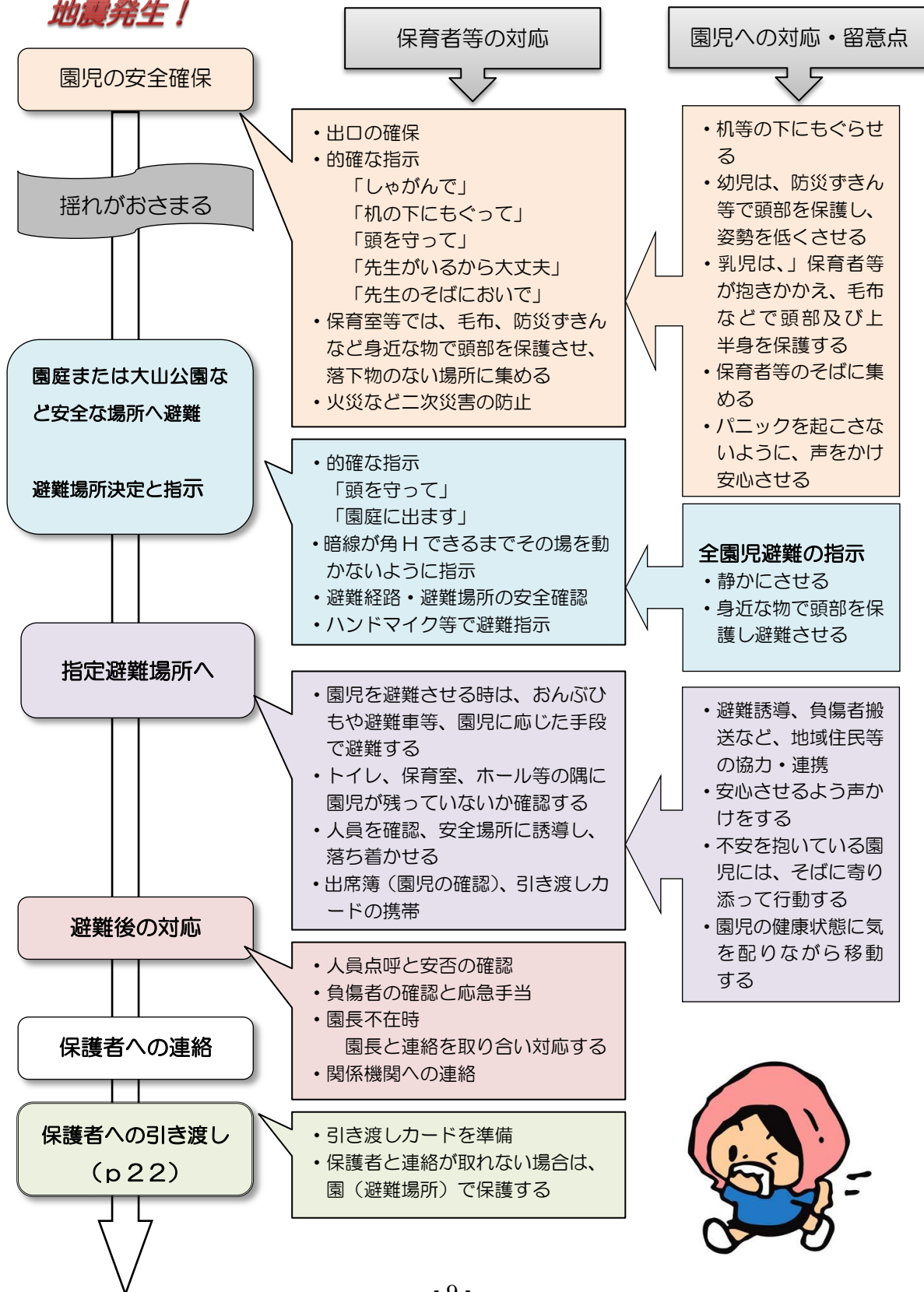
7、対応マニュアル

地震時マニュアル



地震発生！

保育室等での対応 預かり・延長保育時の対応





地震発生！

園庭での対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点

園児の安全確保

揺れがおさまる

園庭または大山公園など安全な場所へ避難

避難場所決定と指示

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し
(p 22)

- ・的確な指示
「しゃがんで」
「机の下にもぐって」
「頭を守って」
「先生がいるから大丈夫」
「先生のそばにおいで」
- ・落下物のない場所に集め、頭部を保護させる。
- ・固定遊具の園児は急いで降ろす

- ・的確な指示
「お部屋の中にいる人は出ておいで」
「頭を守って」
「大丈夫よ、安心して」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・園舎内（トイレ、保育室、ホール等）や園庭の隅に園児が残っていないか確認する。
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等で避難指示

- ・園児を避難させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・人員を確認、安全場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長不在時
園長と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡が取れない場合は、園（避難場所）で保護する

- ・机等の下にもぐらせる
- ・幼児は、防災ずきん等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する





地震発生！

午睡時の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点

園児の安全確保

揺れがおさまる

園庭または大山公園など安全な場所へ避難

避難場所決定と指示

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し
(p 22)

- ・ 出口の確保
- ・ 的確な指示
「布団をかぶって」
「頭を守って」
「先生がいるから大丈夫」
- ・ 保育室等では、布団、毛布等身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所に集める。
- ・ 火災など二次被害の防止

- ・ 的確な指示
「布団から出なさい」
「頭を守って」
「大丈夫よ、安心して出ておいで」
「園庭に出ます」
- ・ 安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・ 避難経路・避難場所の安全確認
- ・ ハンドマイク等で避難指示

- ・ 園児を移動させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・ トイレ、保育室、ホール等の隅に園児が残っていないか確認する。
- ・ 人員を確認、安全場所に誘導し、落ち着かせる
- ・ 出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・ 人員点呼と安否の確認
- ・ 負傷者の確認と応急手当
- ・ 園長不在時
園長と連絡を取り合い対応する
- ・ 関係機関への連絡

- ・ 引き渡しカードを準備
- ・ 保護者と連絡が取れない場合は、園（避難場所）で保護する

- ・ 幼児は、布団にもぐり頭部を保護。防災頭巾の着用
- ・ 乳児は、保育者等が抱きかかえ、毛布などで頭部及び上半身を保護する
- ・ 寝ている園児を起こす
- ・ 保育者等のそばに集める
- ・ パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

- 全園児避難の指示**
- ・ 静かにさせる
 - ・ 防災頭巾で頭部を保護し避難させる

- ・ 避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・ 安心させるよう声かけをする
- ・ 不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・ 園児の健康状態に気を配りながら移動する





地震発生！

散歩・園外保育時の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点

園児の安全確保

揺れがおさまる

避難場所決定と指示

最寄りの安全な場所へ避難

安全確認

園へ連絡
避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し
(p22)

- ・的確な指示
「しゃがんで」
「頭を守って」
「先生がいるから大丈夫、安心して」
- ・地形や状況を判断し、落下物のない橋に集め、頭部を保護させる
- ・交通機関等を利用している場合は、施設従業員、乗務員の指示に従う

- ・的確な指示
「先生のそばにおいで」
「頭を守って」
「けがをした人はいませんか」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・最寄りの避難場所を選定する

- ・人員を確認し、最寄りの安全な場所に避難誘導する
- ・落下物、悲惨ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした通路、倒れた電柱、垂れ下がった電線等に近づかないよう指示

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長に状況を報告し、対応を決定する

- ・保護者に状況を伝える
- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡が取れない場合は、園（避難場所）で保護する

＊遠足等の園外活動時は、事前に避難場所等の確認を実施

- ・幼児は、頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・防災頭巾で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声をかける
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

- ・園に変えることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、園長と連絡を取り合う

散歩時等、園外に出かける時は非常持出品を携帯する



地震発生！

プール・水遊び中の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点

園児の安全確保

揺れがおさまる

園庭または大山公園など安全な場所へ避難

避難場所決定と指示

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し
(p 22)

- ・的確な指示
「プールからあがりなさい」
「プールのふちにつかまって」
「先生がいるから大丈夫」
「先生のそばにおいで」
- ・プールから園児を出す
- ・園庭中央に避難
- ・バスタオル等で身体を保護させる
- ・園児がプールに残っていないか確認をする

- ・的確な指示
「大丈夫、先生がいるから」
「頭を守って」
「先生のそばにおいで」
「園庭に行きます」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・ハンドマイク等で避難指示

- ・園児を避難させる時は、おんぶひもや避難車等、園児に応じた手段で避難する
- ・人員を確認、安全場所に誘導し、落ち着かせる
- ・出席簿（園児の確認）、引き渡しカードの携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長不在時
園長と連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡が取れない場合は、園（避難場所）で保護する

- ・出られない園児をプールから出す
- ・幼児は、バスタオル等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・乳児は、保育者等が抱きかかえ、バスタオル等で頭部及び上半身を保護する
- ・保育者等のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

- ・静かにさせる
- ・バスタオル等で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

水着のまま避難した時は、毛布等で身体を保護する



園バス乗車中の対応

保育者等の対応

園児への対応・留意点

園児の安全確保

揺れがおさまる

最寄りの安全な場所へ避難

避難場所決定と指示

安全確認

園への連絡 避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し (p 22)

- ・地形や状況を判断し、崩落や落下物等の恐れがない安全な場所にバスを停める
- ・的確な指示
「頭を守って」
「先生がいるから安心して」

- ・的確な指示
「けがをした人はいませんか」
「頭を守って」
「あわてないで、大丈夫よ」
- ・安全が確保できるまでそばを動かさないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下がった電線等に近づかないように指示
- ・人員を確認し、避難誘導する

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・園長に状況報告し、対応を決定する

- ・引き渡しカードを準備
- ・保護者と連絡が取れない場合は、園（避難場所）で保護する

- ・園バス運行経路の防災マップ
- ・乗車する園児の名簿
- ・携帯電話 各バス携帯する事

- ・身近な物で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・保育者のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全園児避難の指示

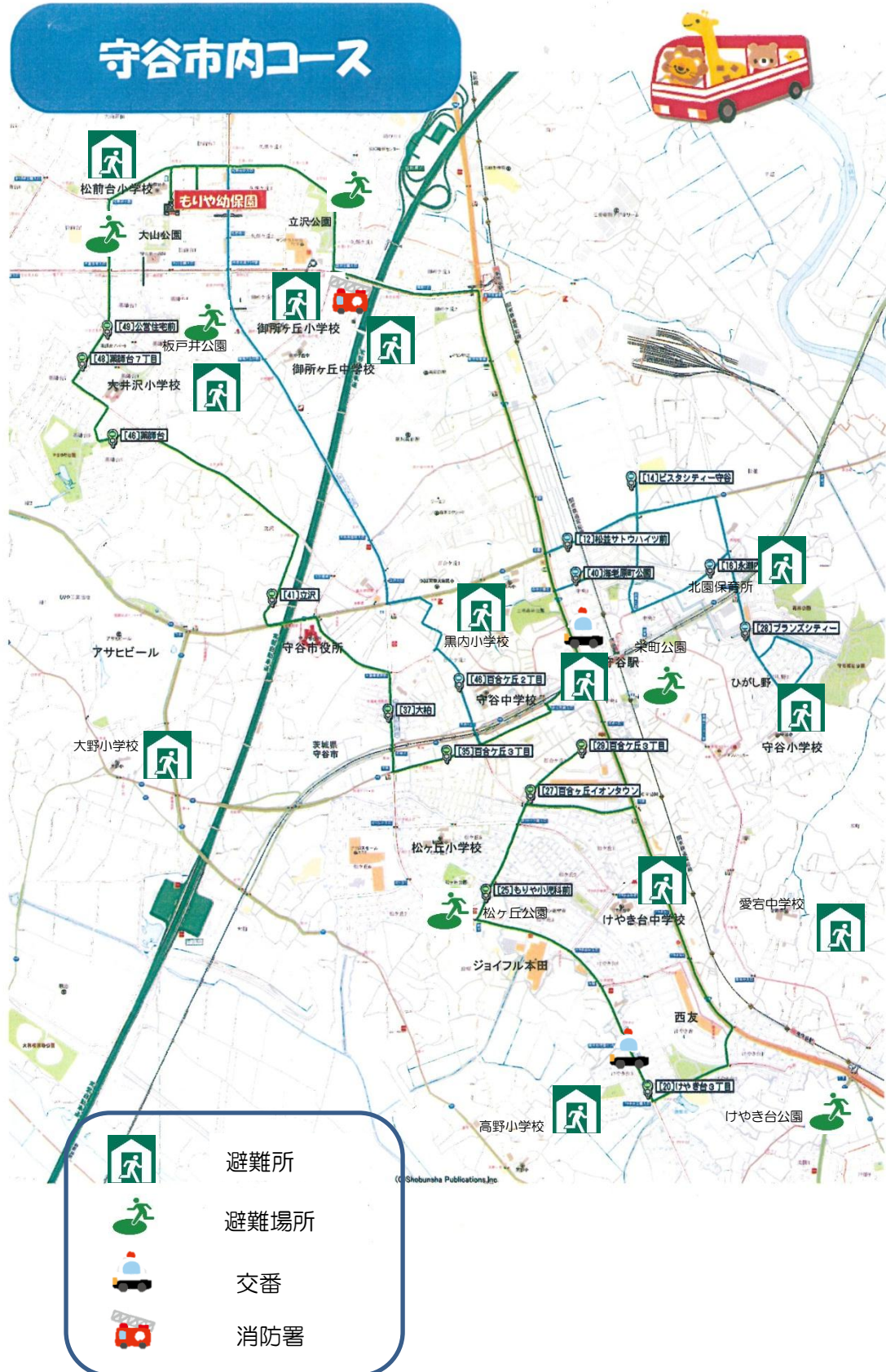
- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声をかける
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・園児の健康状態に気を配りながら移動する

- ・園に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、園長と連絡を取り合う

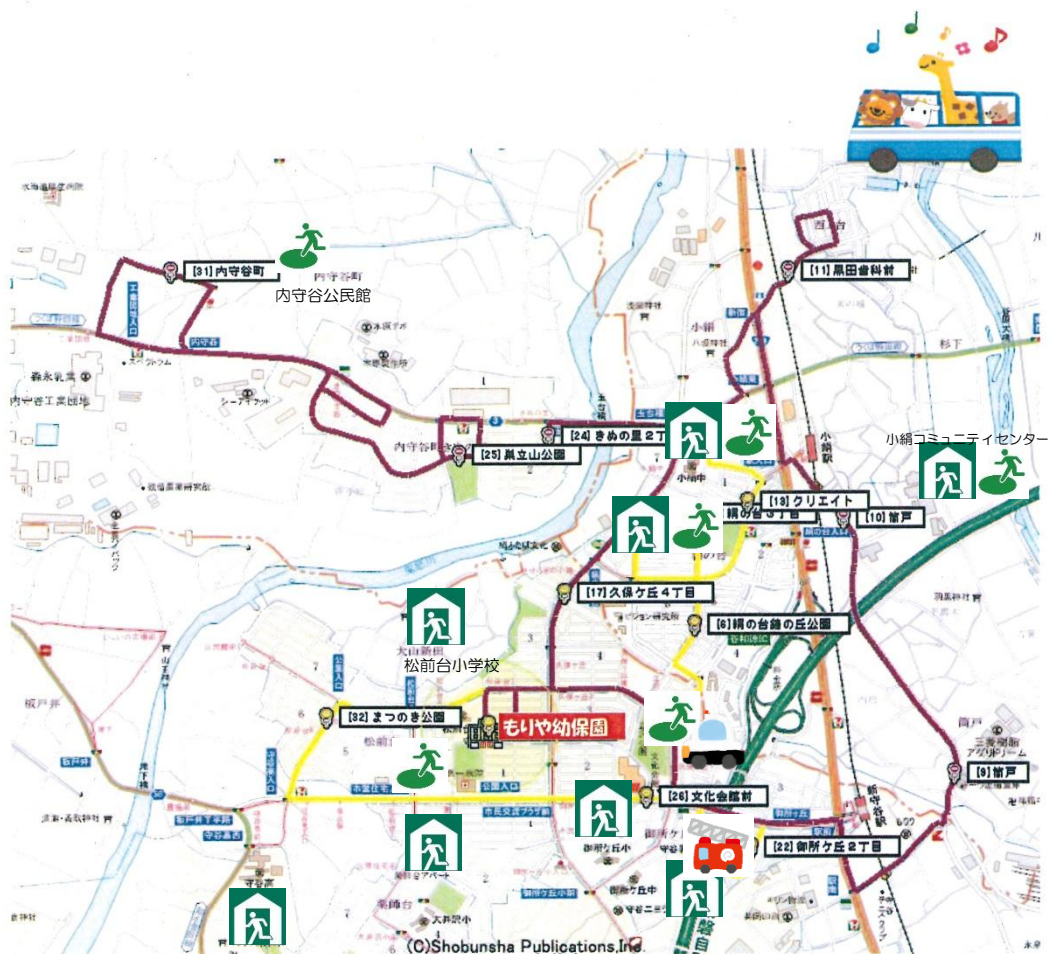
園バス運行経路災害時避難マップ

守谷市内コース



★つくばみらい市 筒戸・西の台 常総市 きめの里 コース

★つくばみらい市 絹の台 守谷市 久保ヶ丘 松前台 コース



避難所



避難場所



警察署・派出所



消防署

つくばみらい市コース

避難所

避難場所

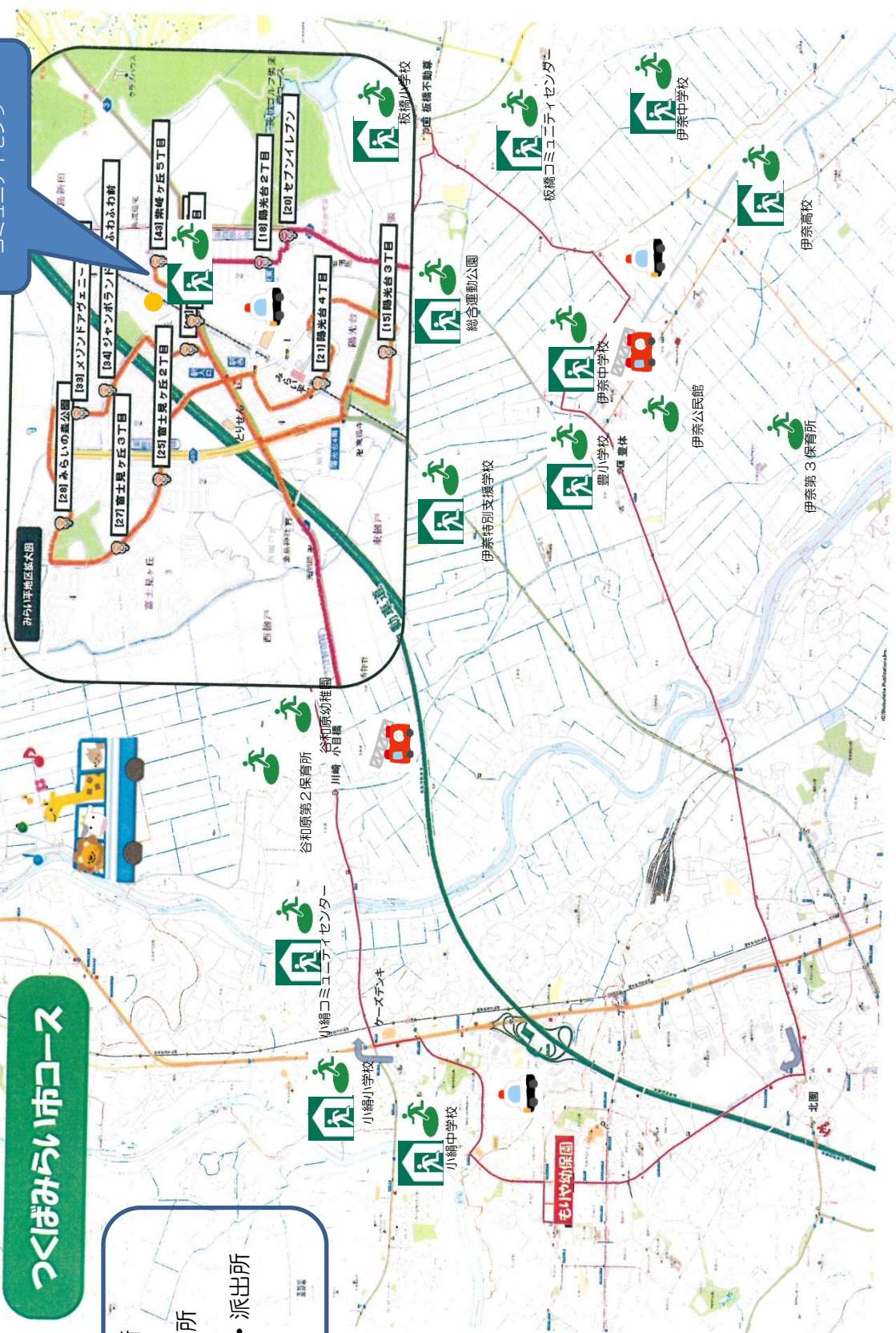
警察署・派出所

消防署



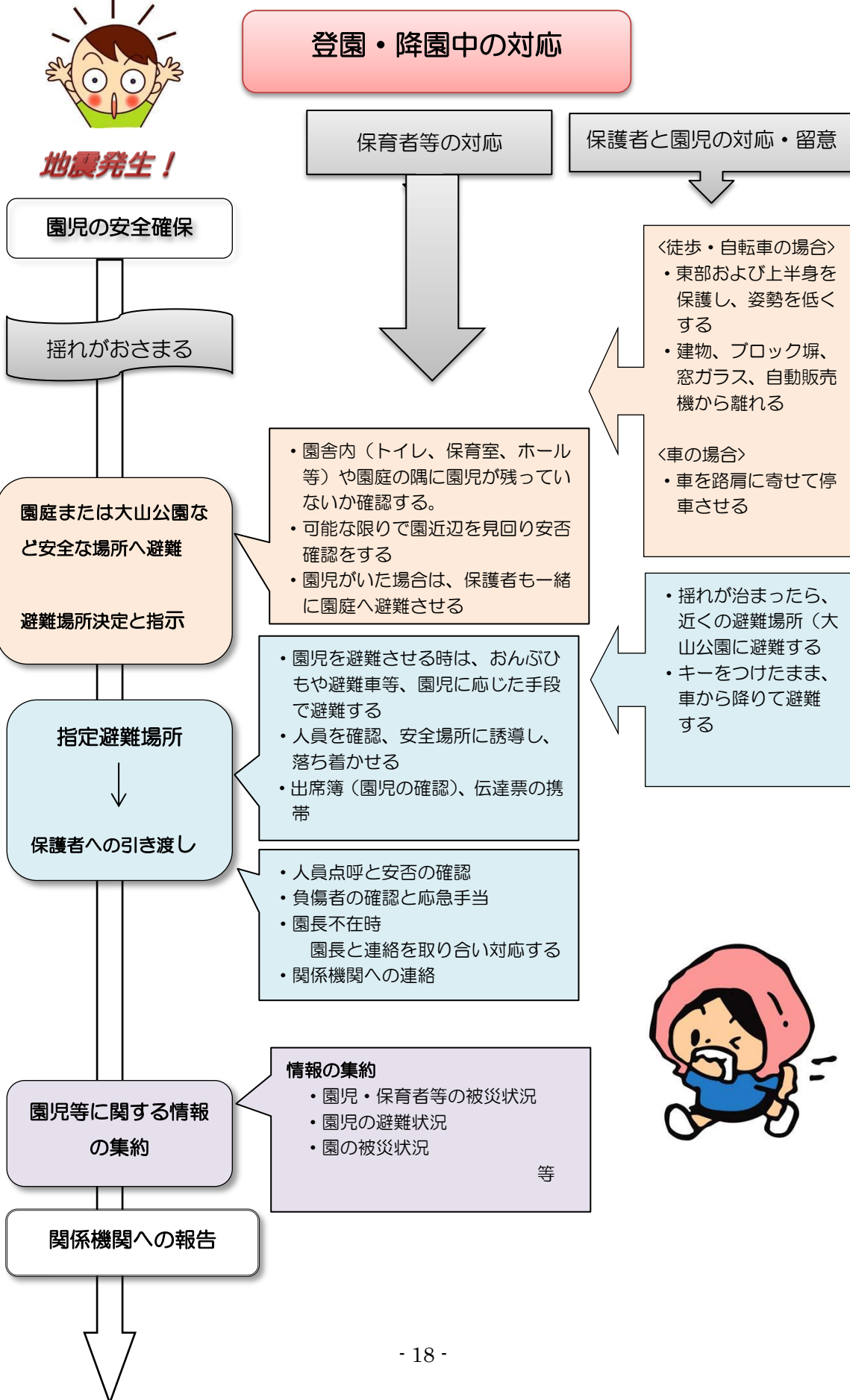
みらい平地区

コミュニティセンター





地震発生！





地震発生！

休日・夜間等の対応

保育者等の対応

保護者と園児の対応・留意

園児の安全確保

揺れがおさまる

避難

幼保園へ参集

園児・保育者等の
安否確認

自宅・避難所等

被害状況の把握

- ・自分自身の安全を確保する
- ・家族の無事を確認する
- ・家族の安否後、園や指定されている避難場所に参加する

- 〈自宅等にいる場合〉
- ・東部および上半身を保護し、姿勢を低くする
- 〈徒歩・自転車の場合〉
- ・東部および上半身を保護し、姿勢を低くする
 - ・建物、ブロック塀、窓ガラス、自動販売機から離れる
- 〈車の場合〉
- ・車を路肩に寄せて停車させる

- ・園児と保護者の安否確認をする
- ・保育者等の安否確認をする
- ・園舎や園周辺の被害状況を確認する

- ・指定されている穂何場所へ避難する
- ・津波危険地域では、高台や十分な強度と安全な高さのある建物に素早く非難する
- ・安全が確認できるまで、避難場所等を動かない



情報の集約

- ・園児・保育者等の被災状況
- ・園児の避難状況
- ・園の被災状況

等

園児等に関する情報の
集約

関係機関への報告



火災時マニュアル

火災第一発見者！

POINT！！

- *ドアを閉める
- *速やかに外へ出る
- *煙の場合はハンカチ使用
- *姿勢を低くして避難

伝達

伝達

園長、主任

職員

通報

避難

119番へ通報

園児の安全確保

連絡

連絡

市役所

保護者

対応

対応

事後処理と対応

※非常持ち出し
出席簿・緊急連絡簿・救急用具・携帯電話

- ①点呼をして人数の確認
- ②安全な場所へ誘導避
- ③避難して救援、救助を待つ

※園児への注意
お・・・おさない
か・・・かけない
し・・・しゃべらない
も・・・もどらない

【事後の安全管理】

- ・園児のこころのケアを図る
- ・状況、事実を把握し記録する
- ・保護者への連絡
- ・情報の公開においては、窓口を一本化して対応



火災が発生したら

第一発見者が園長・主任・職員に連絡する



火災発生時の対応

「119」への通報通報 マニュアル

火事です

住所は〇〇

名前は△△△です

電話番号は■■■■

目印になるものは×××

①園児の安全確保

- ・園児の点呼をし、人数を確認する
- ・園児を安全な場所へ誘導し避難する

②119番へ通報

- ・けが人が出た場合は、救急車の手配もする

③市役所に連絡

- ・救援を要請する

関係先への連絡

①保護者へ連絡する

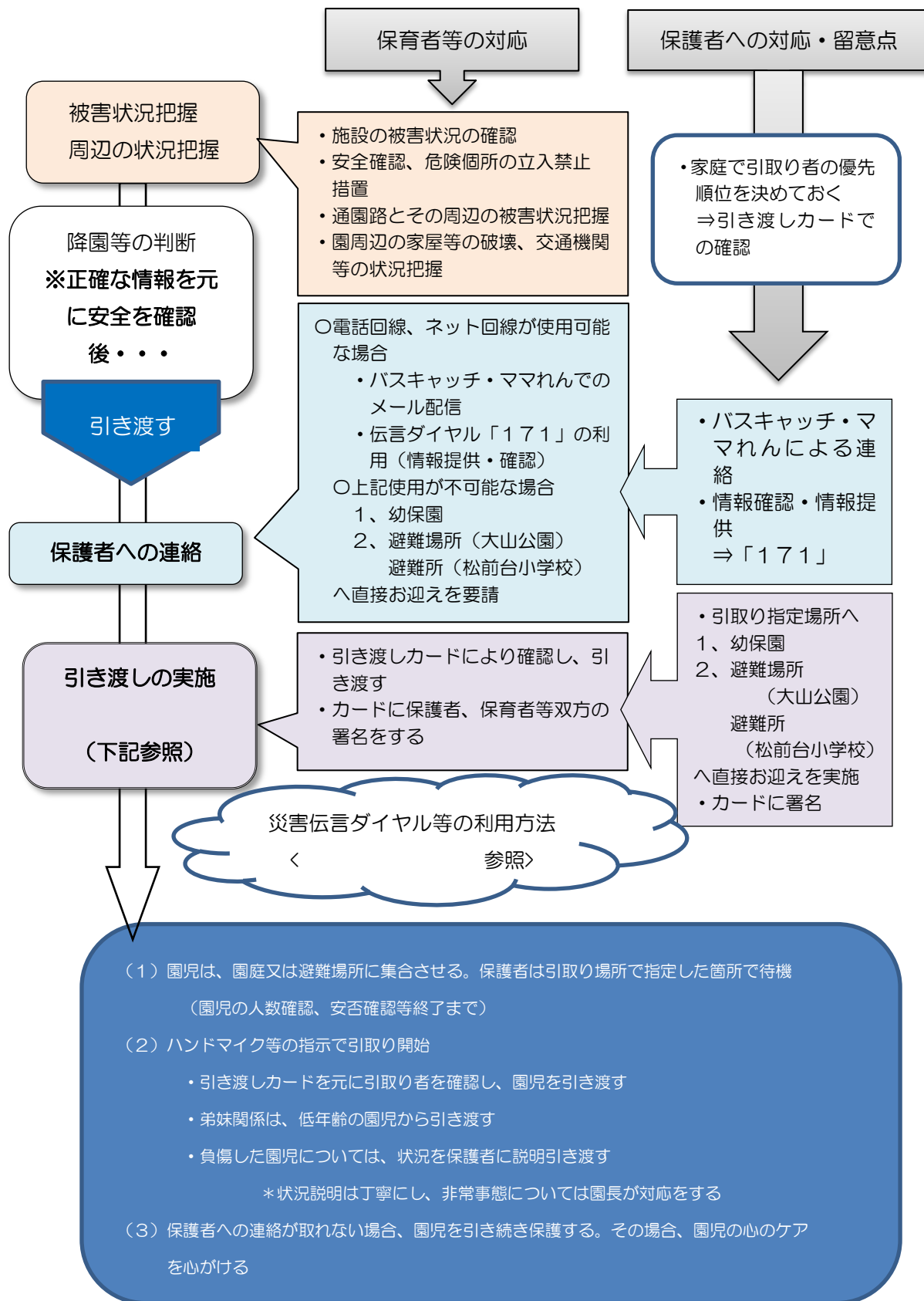
- ・保護者の緊急連絡先、またはバスキャッチ、ママれん等で知らせる
- ・引き渡しカードを使用して、確実に引き渡す
- ・連絡取れない場合、お迎え時間が不明な場合等、避難場所での待機を実施する



事後の対応と処理

- ・事後の安全確認をする
 - ・状況、事実を把握し記録する
 - ・園児の心のケアを図る
 - ・保護者への状況説明を実施する
- ※情報開示の際には、窓口は園長が行う

9、保護者への引き渡し



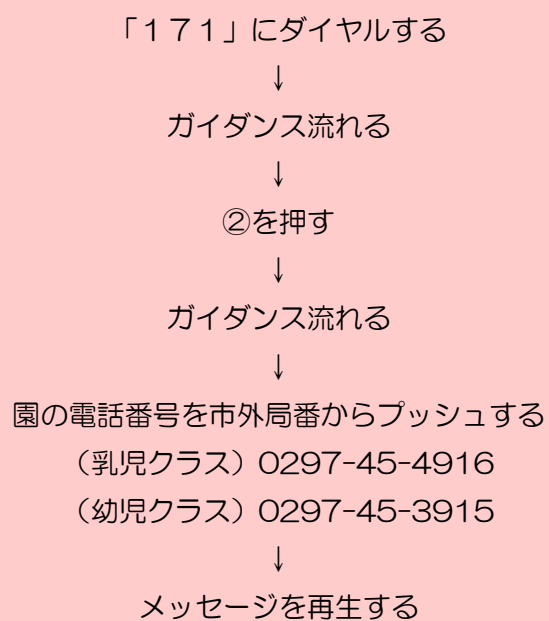
10、緊急時の通信手段

緊急時は「バスキャッチ」「ママれんメール」への配信ができない場合を受けて
災害伝言ダイヤル「171」での伝言を実施致します

＊災害時すぐは伝言ダイヤルの使用も不可能な場合がありますので、その場合は
園までいらして頂く事を最優先に実施してもらう

災害伝言ダイヤル「171」

【伝言の再生方法】

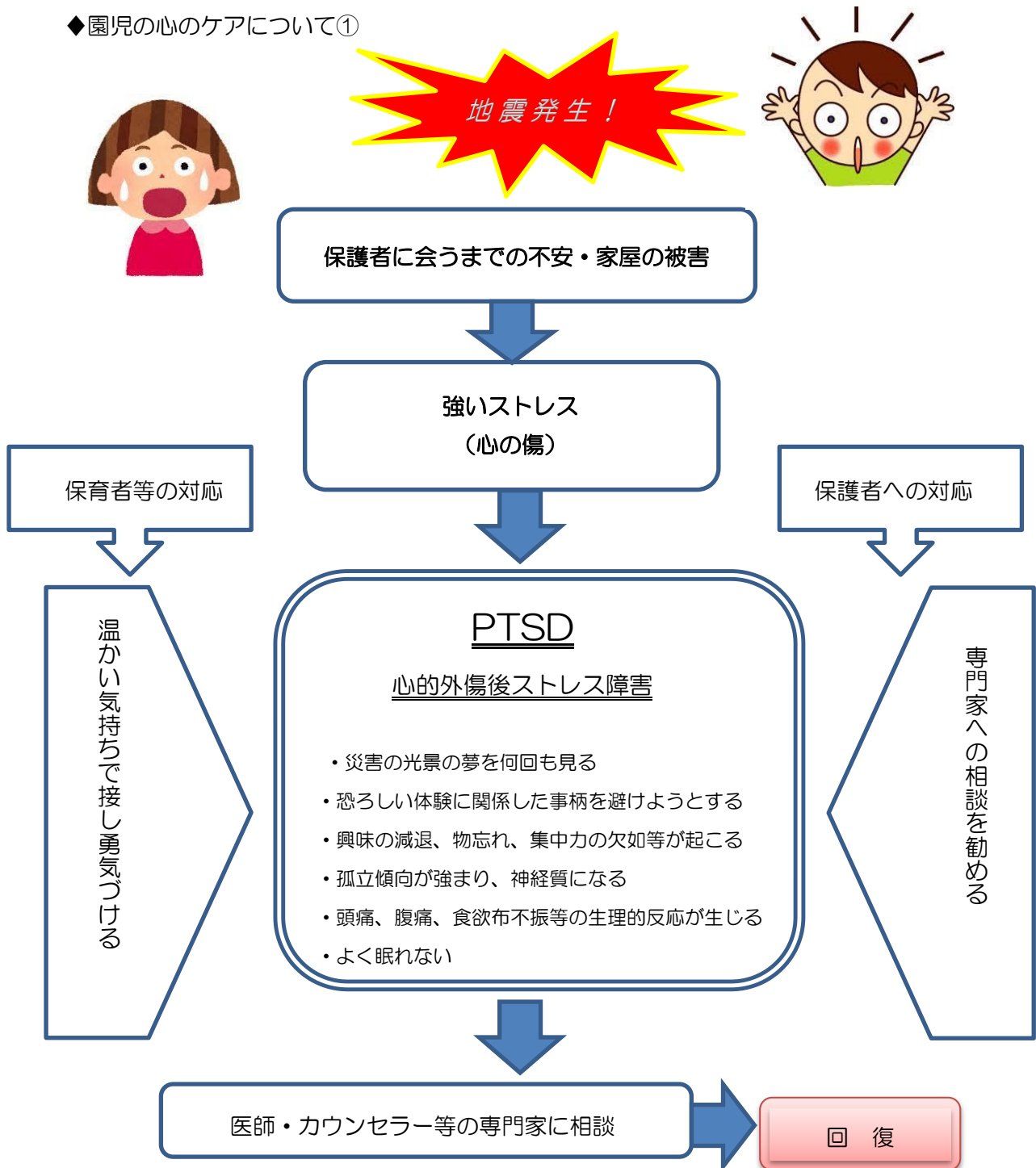


11、災害時における心のケア

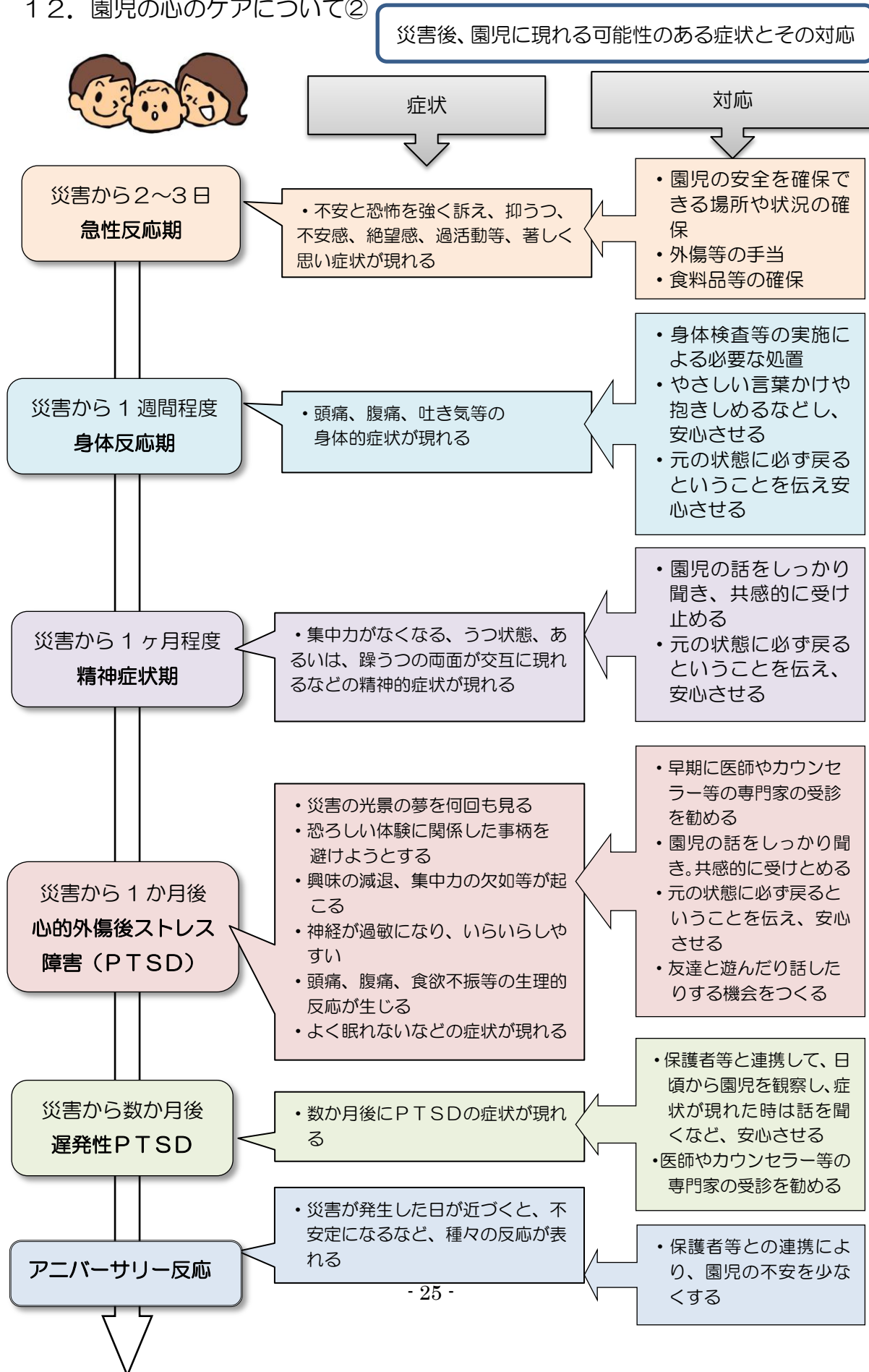
園児の心のケア

災害発生に伴い、園児に強いストレスが加わると、心身に不調を生じる事がある
その為、災害発生時直後から、早期の心のケアが必要となる。園児に適切な支援を行う為には、専門機関や医療機関等と連携することも重要となる

◆園児の心のケアについて①



12. 園児の心のケアについて②



心肺蘇生法

乳児
1歳未満

子どもの呼吸が止まり、心臓が動いていないような場合は、ためらわずとにかく心肺蘇生を行います。救急車の到着まで行うことで、子どもの命が助かる確率が格段に上がります。

- 1** 意識を確認。大きな声で呼びかけ、肩を軽くたたく。



- 2** 反応がない場合、119番通報とAED手配を依頼。



- 3** 呼吸を確認。胸と腹の動きを10秒以内で観察する。



- 4** 心臓マッサージ 30回

呼吸がなければ、図の位置に指を2本置く。

中指、薬指を立てる

中心よりやや下



- 5** 胸の厚さの1/3の深さまで、胸骨を圧迫する。



- 6** 頭を反らせ、指であごの先を持ち上げて、気道を確保。



- 7** 人工呼吸 2回

大人の口で子どもの鼻と口を覆って息を吹き込む。



1回の吹き込みにつき約1秒。2回連続で行う

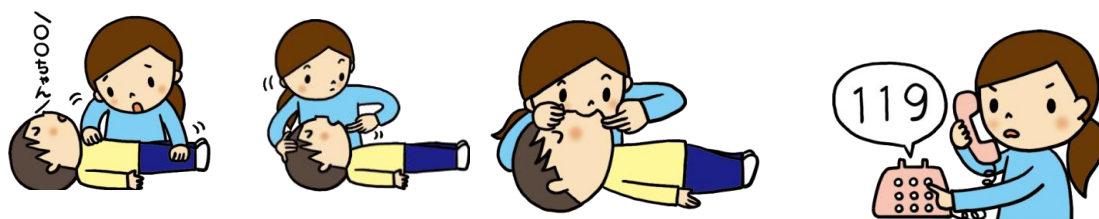
- 8** AEDが到着するか救急隊に引き継ぐまで、または、子どもが回復するまで「心臓マッサージ30回、人工呼吸2回」を続ける。



AEDを使えますか？

AED（自動体外式除細動器）は、心臓の状態を判断し、自動的に電気ショックを与えて正常な状態に戻してくれる医療機器。電源を入れると音声やランプで手順を指示するので、だれでもすぐに使えます。2010年から1歳未満にも使用できるようになりました。いざというときに慌てないように、講習会などで確認しておくとう安心です。

(2012年5月現在)



心肺蘇生法

小児
1歳以上

子どもの呼吸が止まり、心臓が動いていないような場合は、ためらわずとにかく心肺蘇生を行います。救急車の到着まで行うことで、子どもの命が助かる確率が格段に上がります。

- 1** 意識を確認。大きな声で呼びかけ、肩を軽くたたく。



- 2** 反応がない場合、119番通報とAED手配を依頼。

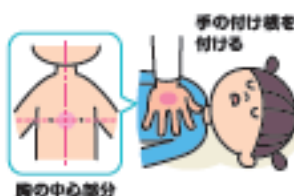


- 3** 呼吸を確認。胸と腹の動きを10秒以内で観察する。



- 4** 心臓マッサージ 30回

呼吸がなければ、ひじを伸ばし、胸の位置に片手を置く。



- 5** 胸の厚さの1/3の深さまで、胸骨を強く圧迫する。



- 6** 頭を反らせ、指であごの先を持ち上げて、気道を確保。



- 7** 人工呼吸 2回

鼻をつまみ、大人の口で口を覆って息を吹き込む。



- 8** AEDが到着するか救急隊に引き継ぐまで、または、子どもが回復するまで「心臓マッサージ30回、人工呼吸2回」を続ける。



AEDを使えますか？

AED（自動体外式除動器）は、心臓の状態を判断し、自動的に電気ショックを与えて正常な状態に戻してくれる医療機器。電源を入れると音声やランプで手順を指示するので、だれでもすぐに使えます。2010年から1歳未満にも使用できるようになりました。いざというときに慌てないように、講習会などで経験しておくことが安心です。

(2012年5月現在)



救急車の呼び方



慌てず、落ち着いて**119番**（局番なし）に電話しましょう。

119番の問いかけ

火事ですか？ 救急ですか？

住所はどこですか？

電話番号は？

どんな状態ですか？

園の答え方

救急（火事）です

〒

TEL

だれが
いつ
どこで
どうした
状態は

災害用伝言ダイヤル 171

園では災害が起きたときに**171**をダイヤルし、**子どもの安否** **園の被害状況** **避難先**を録音します。保護者はそれを確認することができます。

メッセージを録音する

171をダイヤル

1を押す

園の電話番号

メッセージを録音

保護者がメッセージを聞く

171をダイヤル

2を押す

園の電話番号

メッセージを聞く

（2012年5月現在）

※ 171は、災害発生時に被災地で電話が繋がりにくくなったときに提供される、NTTグループのサービスです。毎月1日と15日、防災週間（9月1日を含む1週間）などに体験利用できるの、確認しておくと安心です。



AEDの使い方



消火器の使い方